

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

(単位：千円)

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	A 決算・実績						事業の成果・効果		予算区分	
							総事業費	B 補助対象 事業費	C 国庫補助 額	D 交付対象 経費	E 起債予 定額	F その他	G 補助対 象外経 費	事業の成果 (アウトプット)		事業の効果検証 (アウトカム)
合計							710,222	710,220	16,092	686,056	0	8,072	2			
1	単	新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業	商工課	①経済活動の収縮に伴い支障が生じる事業者を支援する ②ア 中小企業者等への事業継続緊急支援金 イ 消費活性化のための黒石グルメ券の発行 ③ア 事業継続緊急支援金 42,185,000円 時間外勤務手当389,000円 消耗品50,000円 通信運搬費122,000円 広告料124,000円 支援金41,500,000円 イ 黒石グルメ券発行 32,478,000円 時間外勤務手当429,000円 消耗品費135,000円 通信運搬費3,303,000円 委託料1,390,000円 補助金(グルメ券) 25,402,000円 会計年度任用職員1,819,000円 報酬 1,377,000円 期末 172,000円 社保 248,000円 費用弁償 22,000円 ④ア タクシー(ハイヤー)業・小売業・宿泊業・飲食業・運転代行業 イ ①市内世帯(3,000円×9,200世帯) ②市内宿泊施設連泊者(1,000円×43人)	R2.5	R3.3	74,658	74,658		74,655			3	ア 支援金の給付 経済活動の収縮に伴い支障が生じた事業者(タクシー業等)の、事業継続のための支援を行い、事業継続を促した。 ※支援効果額41,500,000円(交付総額) イ 商品券の発行 想定9,200世帯に対し、9,319世帯(500円券×6枚)に送付した。	ア 支援金の給付 経済活動の収縮に伴い支障が生じた事業者(タクシー業等)の、事業継続のための支援を行い、事業継続を促した。 ※支援効果額41,500,000円(交付総額) イ 商品券の発行 市内124店が参加し、市内の消費喚起及び市内に賑わいを起こし、参加事業者の顧客獲得と売上向上を図った。 ※消費喚起効果額25,401,500円(商品券換金総額)	R2補正(地)
2	単	児童手当等給付事業	福祉総務課	①感染症予防のため窓口受付を郵送受付に変更する ②郵送受付変更に伴う郵送料 ③障害者サービス 12,190円 児童福祉サービス ・児童手当事業 130,479円 ・子ども医療費給付事業 152,534円 ・児童扶養手当事業 2,612円 ・ひとり親医療費給付事業 117,614円 ・高等職業訓練促進事業 146円 ・教育・保育給付事業 188円 国民健康保険増額分129,065円国保特別会計へ繰出 ④各事業対象者	R2.5	R3.3	548	548		545			3	各種申請についての通知の際に返信用封筒を同封し、郵送による申請手続きを推奨した。 児童手当給付事業 1,393件 子ども医療費給付事業 更新申請返信 343件 資格証送付 298件 児童扶養手当給付事業 8件 ひとり親家庭等医療費給付事業 現況返信 243件 受給者証送付 253件 高等職業訓練促進事業 2件 教育・保育給付事業 2件	窓口での手続きを不要とすることで、市民と職員の接触機会を減らし、感染対策を図ることができた。特に、例年、短期間に多数の対象者が来庁する各種現況届手続きを郵送受付にしたことで、受付場所の密防止を図ることができた。	R2補正(地)
3	単	新型コロナウイルス対策事業	新型コロナ対策室	①公共施設等における新型コロナウイルス感染症の感染防止 ②・③公共施設等における蔓延防止に係る経費一式(別添参考資料のとおり) ④公共施設・学校施設・福祉施設・指定管理施設等管理者	R2.4	R3.3	19,212	19,212		19,212				市有施設に感染予防備品の備蓄 消耗品費11,295,035円(マスク備蓄数137,000枚、フェイスシールド515枚、マウスガード400枚、消毒液(補充用一斗缶)45缶、消毒液(ボトル)618本など) 備品購入費7,858,290円(アクリル板購入数79枚、非接触体温計購入数81個、サーマルカメラ購入数32基、課室空気清浄機11台、web会議用PC・スピーカー購入数2台など)	・公共施設施設内での感染拡大防止のため、各部署や各施設にマスクや検温機器等を設置し、市民が安心して施設や行政サービスを受けられる体制を構築できた。 ・web会議用備品を購入したことにより、接触機会及び感染リスクの低減に繋がった。	R2補正(地)
4	単	地域の感染状況等を踏まえたきめ細かい医療提供体制等構築事業	黒石病院事務局	①感染予防のため、出入口を一本化し検温・問診を実施 ②検温・問診に対応するスタッフとして、専門的知識が必要な事態を想定して、黒石病院の退職看護師を臨時雇用 ③3名を雇用【R2.4.15~(1名) R2.4.23~(2名)】 勤務時間(午前8時~正午) 賃金日額(5,156円) 交通費1名のみ月額2,000円 ④黒石市国民健康保険黒石病院へ繰出	R2.4	R3.3	3,504	3,504		3,504				臨時雇用者3名の人件費として、3,504,000円を黒石市国民健康保険黒石病院へ繰り出し、3,503,589円を臨時雇用者へ支払った。	臨時雇用スタッフが来院者に対し検温・問診を実施することで、新型コロナウイルス感染症罹患者の早期発見に繋がりが、院内での感染拡大を防ぐことが可能となった。	R2補正(地)

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

5	単	地域の感染状況等を踏まえたきめ細かい医療提供体制等構築事業	黒石病院事務局	①感染防止のため消毒用アルコール、手袋等を購入 ②医療消耗品購入。数量は半年分を想定する。 ③消毒用アルコール : 40L/週×24週×2,332円=2,238,720円 非滅菌手袋 : 36,000枚/週×24週×2,5円=2,160,000円 滅菌手袋 : 150枚/週×24週×92.4円=332,640円 ④黒石市国民健康保険黒石病院へ搬出	R2.5	R2.11	4,713	4,713	4,713			消毒用アルコール及び手袋等5,213点、4,713,410円の購入経費の内、4,713,000円を黒石市国民健康保険黒石病院へ繰り出した。	国や県からの補助金だけでは補填しきれない経費（新型コロナウイルス感染症患者及び疑い患者の受入と、一般患者の診療を両立するために必要な経費）を補填し、医療提供体制の維持に寄与された。	R2補正 (地)	
6	単	公立学校情報機器整備事業	学校教育課	①学習機会の確保 ②GIGAスクール構想の実現に向けた、児童生徒1人1台端末の整備事業として、学校の臨時休業等の期間中も切れ目ない学習環境の確保のための教材ソフトの購入 ③・家庭学習支援機能付き教材ソフト 小学校4校 5,570千円 中学校2校 3,207千円 操作説明会 264千円 設定作業料 9,299千円 ④市内小中学校	R2.10	R3.3	18,341	18,341	18,341			・市内の小中学校4校、中学校2校の児童生徒が利用する、家庭用学習機能付き教材ソフトを購入し、その設定作業を行った。 ・上記の教材ソフト操作説明会開催した。	感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用により児童生徒に切れ目ない学びを保障する環境を整備することができた。	R2補正 (地)	
7	単	新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業	商工課	①経済活動の収縮継続により支障が生じる事業者への支援継続 ②中小企業者等への事業継続緊急支援金(対象者拡大) ③事業継続緊急支援金(拡大) 50,280,000円 時間外勤務手当36,000円 消耗品費34,000円 コピー用紙 2,550円×8箱 ファイル等 13,000円 通信運搬費 67,000円 郵送料 84円×800件 広告料 143,000円 新聞広告20,000円×5回×10% 新聞広告10,000円×3回×10% 補助金 50,000,000円 支援金1件10万円×500件 ④卸売業、製造業、サービス業、運輸業等	R2.7	R3.3	50,280	50,280	50,277	3			事業NO.1新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業(ア)の支援対象業種を拡大し、想定500件に対し、500件(1件100,000円)に交付した。	経済活動の収縮に伴い支障が生じた事業者(卸売業等)の、事業継続のための支援を行い、事業継続を促した。 ※支援効果額50,000,000円(交付総額)	R2補正 (地)
8	単	新型コロナウイルス感染症緊急就職支援事業	商工課	①就職支援イベント中止の代替えとしての市内高校生対象オンライン企業説明会開催 ②web企業説明会の開催 ③委託費 1,628,000円 ア 企画費 300,000円 イ 運営費 300,000円 ウ 機材セッティング費 100,000円 エ 機材費 480,000円 ipad 15,000円×10台 テレビモニター 15,000円×10台 ケーブルマイク 8,000円×10本 パソコン 10,000円×10台 オ 会社PR動画撮影費 300,000円 30,000円×10社 カ 消費税 148,000円 上記ア～オの計×10% ④市内企業、就職希望者	R2.6	R3.3	1,628	1,628	1,628				(開催日) 令和2年7月15日 (場所) 黒石商業高校 (参加生徒) 64人 (参加企業) 8社	就職を希望する市内高校生に、就職機会を創出するとともに、参加企業情報のPRを行ったほか、参加企業の採用活動支援を図った。	R2補正 (地)
9	単	黒石市農業生産力維持強化緊急支援事業	農林課	①失業者・休職者等に対する農業を手段とした雇用対策及び労働力不足による生産規模の縮小に伴い支障が生じる農業者の支援 ②ア 農業者が雇用する雇用者への支援金 イ 支援事業運営費 ③ア 16,000円×30件= 480,000円 32,000円×30件= 960,000円 64,000円×20件=1,280,000円 96,000円×20件=1,920,000円 256,000円×20件=5,120,000円 320,000円×20件=6,400,000円 384,000円×20件=7,680,000円 イ 運営費用(消耗品費等:629,000円) ④雇用契約を取り交わし農作業に従事する市民	R2.6	R3.3	11,527	11,527	11,526	1			農業者と市民とのマッチング支援を行い、農業生産力の維持・強化と雇用の確保を図った。  支援金交付実績: 44件、10,992,000円 × 16,000円(10日以上20日未満) × 1件= 16,000円 × 32,000円(20日以上40日未満) × 2件= 64,000円 × 64,000円(40日以上60日未満) × 1件= 64,000円 × 96,000円(60日以上80日未満) × 9件= 864,000円 × 256,000円(80日以上100日未満) × 11件=2,816,000円 × 320,000円(100日以上120日未満) × 8件=2,560,000円 × 384,000円(120日以上) × 12件=4,608,000円	新型コロナウイルス感染拡大の影響から、人材、労働力不足等により雇用の確保に苦慮している農業者と、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、失業や休業等を余儀なくされた市民の方とのマッチング支援を行い、農業労働力の維持と雇用の確保を図った。	R2補正 (地)

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

10	単	観光活動回復支援事業	観光課	<p>①観光関連事業者に対し収束後に備えた活動や新しいチャレンジを応援することで観光経済活動の回復を支援</p> <p>②ア ひと味違う黒石魅力創出事業 ・新たなツアーの造成・販売 イ 心に響く広告戦略推進事業 ・心に響くインパクトのある広告戦略</p> <p>③ア 委託費1,500,000円(ツアー企画・実施経費)(うち市費1,000円) イ 委託費1,890,000円・広告料10,802,000円 楽曲使用料330,000円 ウ 印刷製本費78,000円(うち市費1,000円)</p> <p>④ア 受託事業者 イ 受託事業者、放送事業者、新聞社</p>	R2.7	R3.3	14,600	14,600	14,598	2	<p>ア 市の既存のまちあるきツアーをこみせ通り付近に限らず黒石温泉郷エリアとも連携し新たなツアーを造成し、日帰りプランと1泊2日のプランを商品化した。また、市の観光資源である「黒石市小さなまちかど博物館」の更なる周知及び魅力を発信することを目的にPR動画及びカードを作成し、動画共有サイトでのWeb動画配信など魅力の創出を図った。</p> <p>イ 黒石市ならではの観光スタイルをわかりやすくPRするCMを制作し、県内でのテレビCMでの放送、動画共有サイトでのWeb動画配信、県内新聞紙上での全面広告掲載を行い、青森県民向けにインパクトのある広告戦略で市の誘客促進を図った。</p>	<p>ア 感染症の影響により観光客が激減したが、収束に向けまちなかと温泉郷の連携を図ることでまちなかのエリアの幅が広がり、観光客の滞在時間を延ばすことや宿泊を絡めたツアーの実施など観光客の誘客促進に繋がった。また、PR動画をWeb配信することにより、観光施設への興味をそそり来訪者の増加に繋がった。</p> <p>イ 感染症の影響により観光需要が落ち込む中、青森県民向けにインパクトのある広告戦略を実施し、黒石らしさをキャッチコピーとキャンペーンタイトルで表現することにより、市のイメージをわかりやすく伝え、誘客促進を図ることができた。</p>	R2補正(地)
11	単	新型コロナウイルス感染症関連例規整備等事業	総務課	<p>①支援事業、給付金交付事業、予防対策事業等の実施に関する例規整備等のため</p> <p>②例規整備、議案作成等に係る時間外勤務手当 7,218円(総務課3人)×3時間×23回 議案作成事業：8,833円(総務課4人)×2時間×4回 9,539円(総務課4人)×6時間×1回 4,505円(総務課2人)×2時間×3回 1,883円(総務課1人)×3時間×2回</p> <p>④市民、市内事業者等</p>	R2.4	R3.3	949	949	948	1	<p>新型コロナウイルス感染症の影響に関する支援事業、給付金交付事業、予防対策事業等の実施のための例規整備等を行ったことによる職員の時外勤務手当 948,000円(内訳) ・例規整備事業 782,681円 ・議案作成事業 166,747円</p>	<p>早急に例規整備等を行うことにより、市民や市内事業者等への支援、給付金交付、予防対策事業等を迅速に実施することに寄与した。</p>	R2補正(地)
12	単	WEB面接開催事業	総務課	<p>①職員採用試験の面接試験をWEBで開催することで、新型コロナウイルスへの感染予防と受験者の就職活動の費用抑制</p> <p>②WEB面接サービス事業</p> <p>③使用料 109,560円+110,000円=219,560円</p> <p>④受験者及び面接官(黒石市)</p>	R2.7	R3.3	220	220	219	1	<p>職員採用試験の面接試験をWEBで開催することで、新型コロナウイルス感染症の感染予防と受験者の就職活動の費用を抑制する効果があった。 ・A日程第2次試験受験者32名がWEB面接実施</p>	<p>感染防止対策を取りながら、面接試験を実施することができた。 ・採用人数8名</p>	R2補正(地)
13	単	防災レジリエンス強化事業	防災管理室	<p>①新たな災害対応スタイルの構築を図り、状況に応じ避難所を拡充するとともに、密業・密接をさけるためのスペースの確保、換気や衛生対策の徹底などに取り組む。</p> <p>②ア 避難所における物資調達 イ 災害発生後の感染症対策 ウ 新しい生活様式への対応に係る施設等整備</p> <p>③ア (1)生活避難用品・避難所用間仕切り・段ボールベット・生活用品関連(アルミ折りたたみマット、エア座布団、非常用圧縮毛布)・蓄電池用ソーラーパネルセット・扇風機 (2)非常用トイレ・電動簡易トイレ・組み立て式多目的ルーム・専用トイレバック・備蓄用トイレトペーパー (3)衛生用品・非常用保存ウエットタオル・給湯器 (4)備蓄関連・保管用プラスチック製パレット・防災衛生水 (5)消耗品・養生テープ・専用ゴミ箱 イ (1)感染対策品・防護服・感染対策セット・フェイスシールド・非接触式体温計 ウ (1)黒石市防災マップ・防災倉庫・感染症対策を含む総合防災マップ・避難所運営維持管理用軽トラック</p> <p>内訳等金額：別紙1のとおり</p> <p>④指定避難所等</p>	R2.9	R3.3	40,134	40,134	40,134		<p>指定避難所に新たな災害対応スタイルに必要な物品を購入するとともに、避難所の衛生対策等に必要な施設整備を行った。</p> <p>・消耗品費 19,933,496円(段ボールベット、トイレバック、トイレトペーパー等) ・役務費 21,780円(軽トラック自賠責保険料) ・委託料 6,336,000円(防災マップ作成委託料) ・工事請負費 4,748,700円(指定避難所給湯器設置等) ・備品購入費 9,117,100円(蓄電池式ソーラーパネル、避難所トイレ、サーマルカメラ、軽トラック) ・公課費 6,600円(軽トラック重量税)</p>	<p>状況に応じ避難所を拡充するとともに、新しい生活様式への対応に係る避難所を整備することにより、有事の際には迅速に避難所開設を行うことが可能となった。</p>	R2補正(地)

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

14						0	0											
15	単	光ファイバ設備整備事業	企画課	①光ファイバ未整備地域へ光ファイバを整備する ②光ファイバ設備整備に要する経費 ③補助対象範囲整備費用 53,988,000円のうち ア 地方単独事業（地方の任意の上乗せ補助） 53,988,000円×1/3=17,996,000円 17,996,000円+3,599,000円 =21,595,000円 その他は一般財源での対応 ④光ファイバ整備を実施する民間事業者へ負担金として支出	R2.9	3.4以降	14,780	14,780		14,780				光ファイバ未整備地域（黒石市大字沖浦の一部、大字大川原、大字南中野、大字二庄内）へ光ファイバを整備した。	市内における光ファイバ網が広がり、今後様々な分野でのブロードバンド環境の活用が期待できる。	R2補正（地）		
16	単	光ファイバ設備整備事業（一括負担金）	企画課	①光ファイバ設備に必要な維持管理費を負担する。 ②光ファイバ設備に必要な維持管理費について、整備を実施する民間事業者へ支出する。 一括負担金 481,200円 その他は一般財源での対応 ④光ファイバ整備を実施する民間事業者へ負担金として支出	R2.9	3.4以降	481	481		481			光ファイバ未整備地域（黒石市大字沖浦の一部、大字大川原、大字南中野、大字二庄内）への光ファイバの整備に係る維持管理費を負担した。	市内における光ファイバ網が広がり、今後様々な分野でのブロードバンド環境の活用が期待できる。	R2補正（地）			
17	単	サテライトオフィス構築事業	広報情報システム課	①市職員及び来庁者の感染予防対策 ②市内の公民館等の市有施設から庁内LIGWAN系ネットワークに接続するための環境構築費 ※対象施設：黒石公民館多目的ホール及び各地区公民館10館 ③ア 物品購入 ・VPN接続ルータ（情報処理室用） 86,900円（税込み）×1ヶ= 86,900円 ・VPN接続ルータ（各公民館用） 86,900円（税込み）×10館= 869,000円 ・ノートPC（財源変更） 107,250円×37台 = 3,968,250円 ・ノートPC 108,900円×100台=10,890,000円 イ 消耗品費（LANケーブル等） 29,256円 ④市	R2.9	3.4以降	15,843	15,843		15,843			購入品内訳 ・VPN接続ルータ（情報処理室用） 86,900円（税込み）×1=86,900円 ・VPN接続ルータ（各公民館用） 86,900円（税込み）×10館= 869,000円 ・ノートPC（財源変更） 107,250円×37台 = 3,968,250円 ・ノートPC 108,900円×100台=10,890,000円 消耗品（LANケーブル等） 29,256円	市内公民館から庁内ネットワークにアクセス可能な回線を整備し、あわせて持ち出しの容易なノートパソコンに置き換えることで、出勤する職員を抑制する必要に迫られた場合に対応する環境が整備された。	R2補正（地）			
18	単	Web会議システム構築事業	広報情報システム課	①市職員及び来庁者、地区住民の感染予防対策 ②市の各庁舎（3か所）及び地区公民館（10館）にインターネットで接続可能なWeb会議用の環境を構築する。 ③物品購入 (1)市庁舎（3か所：本庁舎、境松、教委） ・液晶ディスプレイ（64.5型） 173,800円×3か所= 521,400円 ・ディスプレイスタンド 48,620円×3か所= 145,860円 ・スピーカーフォン（中型） 64,350円×3か所= 193,050円 ・Web会議用PC（財源変更）107,250円×3か所= 321,750円 ・Web会議用ソフトウェア（ZOOM） 33,000円×1ヶ= 33,000円 (2)各地区公民館（10館） ・Web会議用PC 108,900円×10館=1,089,000円 ・スピーカーフォン（小型） 32,120円×10館= 321,200円 ④市	R2.9	3.4以降	2,625	2,625		2,625			購入品内訳 (1)市庁舎（3か所：本庁舎、境松、教委） ・液晶ディスプレイ（64.5型） 173,800円×3か所=521,400円 ・ディスプレイスタンド 48,620円×3か所= 145,860円 ・スピーカーフォン（中型） 64,350円×3か所= 193,050円 ・Web会議用PC（財源変更） 107,250円×3か所=321,750円 ・Web会議用ソフトウェア（ZOOM） 33,000円×1ヶ= 33,000円 (2)各地区公民館（10館） ・Web会議用PC 108,900円×10館=1,089,000円 ・スピーカーフォン（小型） 32,120円×10館= 321,200円	リモートでの外部機関との打合せ、会議等に活用され、感染予防対策として非常に大きな効果がある。	R2補正（地）			
19	単	地元就職応援情報発信事業	土工課	①スマートフォン等で手軽に活用できる黒石市企業ガイドを市HP内に作成する。 ②新型コロナウイルス感染症拡大により企業説明会が中止となった代替支援 ③企業ガイドWEBページ新規作成委託料 396,000円 市HP内デザイン設計 80,000円 CMSテンプレート作成 80,000円 CMS設定調整 40,000円 企業ガイドページ作成 160,000円 消費税 36,000円 ④地元学生やUIターン就職等を希望する方	R2.9	R3.3	396	396		396			（運用開始） 令和3年1月8日 （掲載企業） 16社 ・卸・小売業 3社 ・製造業 5社 ・建設業 5社 ・医療・福祉 3社	就職を希望する学生等が気軽に、市内企業情報を検索できる環境を、市ホームページ内に整備した。	R2補正（地）			

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

20	単	新型コロナウイルス感染症対策 利子補給基金事業	商工課	①新型コロナウイルス感染症に対応した融資制度を利用し、金融機関から借入れた資金に係る償還利子の一部を補給する。 ②中小企業者等への補助金（1事業者あたり年額10万円上限） ③利子補給基金事業 31,005,000円 広告料 192,000円×1回） 補助金 300,000円（R2年度分交付決定予定額） 積立金 30,523,000円 借入見込10,000千円×利率0.9%×借入10年×分割係数0.55÷10年（補助金年額）×補助期間3年×205.54件 ④市内に所在する店舗又は事業所の代表者が借入人となり、新型コロナウイルス感染症対応の融資制度を利用している者	R2.9	R3.3	30,705	30,705	30,700	5	（対象者） 新型コロナウイルス感染症に対応した融資を令和2年1月29日から令和3年1月31日までに受けた市内事業者 （基金名） 新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金 （積立額） 想定205.54件に対し、164件の利子補給額（30,523,000円）を積み立てた。 （補給期間） 令和2年度から令和7年度まで	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で事業に支障が生じた事業者の資金繰りを令和7年度まで支援する体制を構築した。 ※支援効果額30,523,000円（積立総額）	R2補正 （地）
21	単	地産地消消費拡大PR事業	商工課	①ア 本市の地場産品を活用した食をテーマとするテイクアウト事業を開催する イ 本市の酒類提供店等の活性化を図るためスタンブラリー事業を開催する ②新型コロナウイルス感染症で低迷した地場産品の消費拡大の後押し、及び市内酒類提供店等の活性化を図る。 ③ア テイクアウト事業 5,227,000円 時間外勤務手当 221,000円 消耗品費 20,000円 委託料 4,986,000円 イ スタンブラリー事業 4,981,000円 時間外勤務手当 48,000円 消耗品費 850,000円 通信運搬費 70,000円 広告宣伝費 180,000円 印刷製本費 317,000円 ④市民等	R2.9	3.4以降	9,509	9,509	9,202	307	ア テイクアウト事業 地場産品（市産の寿司専米ムツニシキを使用した握りずし、地酒、銘菓等）の割合せ800セット（1セット2,500円）を委託販売し、完売した。 イ スタンブラリー事業 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた市内飲食店、スナック、バー等に足を運んでもらうきっかけとして、「食べて！飲んで！まるごとくろいし応援ラリ」を実施し、本事業に参加する市内50店への来店1回につき1枚の応募シールを配布し、応募コースに応じた賞品を当選者（283人）に送付した。	ア テイクアウト事業 地場産品のPRを行い、市内の消費喚起及び市内に賑わいを起こし、顧客獲得と売上向上を図った。 ※消費喚起効果額 4,040,000円（食材・物産購入総額） イ スタンブラリー事業 市内飲食店、スナック、バー等の活性化を図ったほか、市内の消費喚起及び市内に賑わいを起こし、顧客獲得と売上向上を図った。 ※消費喚起効果額2,954,356円（賞品購入総額）	R2補正 （地）
22	単	新型コロナウイルス感染症対策 緊急経済事業	商工課	①新型コロナウイルス感染症で停滞した地域経済の活性化を図るため、津軽広域の8市町村で共同で、物産展等を持ち回り開催する。 ②イベント告知用紙、会場装飾用品、来場者用景品等を購入する。 ③消耗品費 134,000円 エール津軽物産展ノベルティ 150円×400個 ファイル等 13,000円 コピー用紙（カラー） 5,000円×12箱 ④市民	R2.9	R3.3	134	134	133	1	（事業名） エール津軽in黒石 （場所） 黒石公民館 （内容） 津軽圏域7市町村の産品販売を、参加自治体で持ち回り開催 （開催日） 令和2年10月17日～18日	新型コロナウイルス感染症で停滞した地域経済の活性化を図るため、市内外の来場者に対して黒石産品の情報を発信した。 ※事業効果831人（来場者数）	R2補正 （地）
23	単	黒石市指定管理施設休業協力金 支給事業	観光課	①公共施設の指定管理者等への協力金や再開に向けた支援 ②観光施設への休業協力金支給 ③・500,000×1施設=500,000円 ・100,000×4施設=400,000円 ・事務費 15,000円 ④利用料金制で運営している施設	R2.9	R3.3	915	915	915		感染症の拡大防止を目的に、市が休業要請を行った公の施設の指定管理施設5施設に対し、当該施設の維持及び運営の支援として休業協力金を交付した。	集客が落ち込む観光施設への支援を行うことにより、施設の維持及び運営費の指定管理者の負担を減らすことができた。	R2補正 （地）
24	単	観光イベントコ ロナ対策支援事 業	観光課	①「新しい様式」に基づき十分な感染防止対策をとった観光イベントに対し、感染防止対策に要する経費を支援 ②感染防止対策に要する経費（上限10万円） ③・100,000円×10団体 ・事務費 72,000円 ④イベント主催団体	R2.9	R3.3	672	672	672		新しい生活様式を取り入れた市内外からの誘客促進を目的としたイベントを主催する団体に対し、感染防止対策を講ずるための支援として1事業に対し10万円の支援金を6事業者に対し交付した。	コロナ過の中、感染予防対策を講ずるための支援を行うことにより、事業継続に対する意欲低下の防止と安心してイベントを開催するための事業者の負担を減らすことができた。	R2補正 （地）
25							0	0					
26	単	観光施設感染対 策事業	観光課	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため必要となる物品の支援 ②観光施設への物品の購入 ③非接触型体温計等備品 2,683,000円 マスク、アルコール等消耗品費 600,000円 ④市が所管する観光施設等	R2.10	R3.3	3,283	3,283	3,282	1	感染症の拡大防止を目的に所管する観光施設等8か所に非接触型体温計や使い捨てマスク、手指消毒等の感染対策に係る物品を購入し配布した。また、中野もみじ山の紅葉期間に合わせて、A1サーマルカメラ等を購入し、感染対策を講じながら実施し、入込数は33,000人となった。	コロナ過の中、感染対策に係る物品を観光施設等へ配布したことにより、事業者が安心して受け入れ体制を講じることができた。また、A1サーマルカメラによる検温等を実施し、安心安全な対策を講じることにより誘客を図った。	R2補正 （地）

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

27	単	障害者施設等新型コロナウイルス対策支援事業	福祉総務課	①地域生活支援事業のうち国の補助対象外となった市の任意事業である障害者等の通所又は入所施設に対して、感染症対策を万全のものとするために衛生安全用品の購入に要した費用に対し支援する ②消毒液、マスク、空気清浄機等の衛生安全用品の購入費 ③1,267,000円(5事業所) ④通所系サービス事業所4か所・福祉ホーム1か所	R2.9	R3.3	1,269	1,269			1,269			障害者施設等に、新型コロナウイルス感染症対策として衛生安全用品の購入に要した費用に補助金を交付。 山郷館サポートセンターくろいし 48,000円 山郷館くろいし(日中一時支援事業所) 121,000円 山郷館パレット 341,000円 NPO法人あおぞら作業所 402,000円 障害者支援施設もみじ学園 355,000円 その他事業に要する消耗品費 2,000円	施設等に補助金を交付することにより、施設内、職員及び利用者の衛生管理が徹底され感染症対策が図られた。	R2補正(地)	
28	補	子ども・子育て支援交付金	福祉総務課	①新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休業等により、春休み終了後の翌日以降(夏季、冬季、学年末などの休業日を除く。)、放課後児童健全事業を平日において午前中から開所するための経費を補助 ②通常の開所以外の部分に係る経費(人件費の他実施に必要な経費)※うち補正対応分 ③6日(4/23・24・27・28・30・5/1)分 10か所 617,634円 ④放課後児童健全育成事業実施事業所	R2.4	R3.3	618	617	206		205		206	1	小学校の臨時休業等に対応するため放課後児童クラブを午前中から開所する際の経費を補助した。 平日開所日数6日 10クラブ	小学校等の臨時休業等の際に放課後児童クラブを午前中から開所することで、新型コロナウイルス感染症対策のための急な学校休業等であっても、保護者及び児童が安心できる居場所づくりができた。	R2補正(国)
29	補	子ども・子育て支援交付金	福祉総務課	①新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休業等により、春休み終了後の翌日以降(夏季、冬季、学年末などの休業日を除く。)、放課後児童健全事業を平日において午前中から開所するための人材確保に係る経費 ②午前中から開所するために必要な人材(教育支援員)に係る人件費 ③4日間(4/27・28・30・5/1) 898円×51時間 ④教育支援員	R2.4	R3.3	46	45	15		15		15	1	小学校の臨時休業等に対応するため放課後児童クラブを午前中から開所するための人材確保として、特別支援教育支援員を配置した。 6クラブ 18人	小学校の臨時休業等の際に放課後児童クラブを開所するために必要な人材を確保することができ、新型コロナウイルス感染症対策のための急な学校休業等であっても、保護者及び児童が安心できる居場所づくりができた。	R2補正(国)
30	単	子どもの手洗環境整備事業	福祉総務課	①手洗いを推奨するため、児童福祉施設等の手洗場に給湯設備を設ける。 ②工事請負費4,004,000円・補助金6,257,000円 ③④[工事費]児童館等2施設1,795,200円・りんごクラブ2施設1,548,000円・天使の森660,000円・[補助金]教育・保育施設(7施設)6,257,000円	R2.10	R3.3	10,261	10,261			10,261				児童の手洗いを推奨するため、児童福祉施設等の手洗いに給湯設備を設置するほか、給湯設備を整備する経費を補助した。 整備施設 3施設・2クラブ 補助金交付施設 7施設	児童が通年で継続して手洗いできるように児童福祉施設等の手洗環境を整備することで、徹底した感染症対策を図ることができた。	R2補正(地)
31	単	集団健診における感染症対策事業	健康推進課	①市民対象のがん検診実施における感染拡大防止対策 ②感染症対策のためにがん検診の実施方法を従来と変更したため、それにかかる諸経費。 ア 実施準備分と追加人員分の時間外勤務手当及び旅費 イ 健診従事者が着用する予防衣のクリーニング代 ウ 健診希望調査回収の際に従事者と市民の接触機会を減らすための郵送に係る費用 エ 消毒物品及び検診実施方法通知のための用紙購入費 オ 検診会場の蜜状態解消のために広い検診会場に変更したための会場賃借料 ③ ア 時間外：247,667円 (準備46時間、平日2人×2時間×26日、休日2人×2時間×6日) 旅費：5,735円(6地区、2人分、1～2日分) イ 200円×68枚分=13,600円 ウ 封筒印刷代5円×12,000枚×1.1=66,000円 返信封筒印刷代6.1円×6,000人×1.1=40,260円 健診希望調査通知63円×12,562人=791,406円 返信94円×5,353円=531,382円 リ 宛名シール 3,020円×3袋=9,060円 エ 計152,120円(消毒ジェル、除菌シート、ハイター、ハンドソープ、ペーパータオル、箱ティッシュ、ゴム手袋、紙コップ、時計、コピー用紙、ハガキ用紙、水) オ 3,690円 ④健診受診者、地方公共団体	R2.4	R3.3	1,850	1,850			1,850				・ 集団健診実施回数 32回 ・ 希望調査個別通知数1 2,514人 回収数 6,672人 ・ 感染拡大防止ならし配布数 4,160枚	市民対象の集団健診において、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施したことで ①健診希望調査を封書による通知にしたことで従事者と市民の接触機会を減らすことができた。 ②入場者の人数制限を設け、整理券を配布し受付時間を30分ごとに区切る、又は検診項目ごとに受付時間を設けることで密集を回避できた。 ③受診者へ感染拡大防止対策協力の旨を書いたチラシを配布し、感染予防の意識づけを実施することにより受診者が安心して受診できる体制づくりができた。また、感染拡大防止対策により担当職員も安心して従事することができるようにできた。	R2補正(地)

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

32	単	乳幼児健診における感染対策事業	健康推進課	①乳幼児健診実施における感染拡大防止対策 ②感染症対策のために乳幼児健診の実施方法を従来と変更したため、それにかかる諸経費。 ア 健診実施準備にかかる時間外勤務手当 イ 健診延期に係る医師の報償費、費用弁償及びタクシー代 ウ 健診延期に係る追加の会場使用料 エ 健診従事者が着用する予防衣及び絨毯のクリーニング代 オ カ 消毒物品等購入費 イ 健診延期通知のためのハガキ代（通信運搬費） ③ア 40,310円 イ 医師3名、公認心理士1名、栄養士1名、看護師2名 報償費164,154円 費用弁償9,805円 タクシー代7,340円 ウ 計78,360円（乳児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診） エ 計78,310円（予防衣、エプロン、じゅうたん） オ 計205,683円（除菌スプレー、除菌ペーパー、消毒ジェル、ハンドソープ、ペーパータオル、ウェットシート、非接触式体温計、フェイスシールド、カーペット、ロールシーツ、文房具） カ 13,860円 ④健診受診者、地方公共団体	R2.4	R3.3	648	648	648		<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児健診11回</li> <li>・1歳6か月児健診12回</li> <li>・3歳児健診13回</li> <li>・ババママスクール4回</li> <li>・チビッコ相談2回</li> <li>・3歳児精密健康診査（心理相談16回、言語相談3回）</li> </ul>	乳幼児健診等における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施したことで、受診者が安心して受診できる体制づくりができた。また、職員も安心して従事することができた。乳幼児の異常の早期発見並びに保健指導、育児支援につながり健康保持及び図ることができた。	R2補正（地）
33	単	新型コロナウイルス感染症対策事業	健康推進課	①新型コロナウイルス感染症対策室を設置し、常勤職員をおいたため。 ②新型コロナウイルス感染症対策室における時間外勤務手当 ③2,862円×月20時間×12月=686,880円 ④地方自治体	R2.4	R3.3	663	663	663		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症総合対策本部会議開催数 10回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策に特化した課室を設置したことで、感染状況等の情報収集や予防対策、市民への注意喚起などを一体的に講じる体制を整備できた。また、新型コロナウイルス感染症総合本部設置し、市全体の感染予防及びまん延防止に繋げることができた。</li> </ul>	R2補正（地）
34	単	新型コロナウイルス感染症による2歳児歯科健診の個別健診移行事業	健康推進課	①歯科保健の充実。新型コロナウイルス感染症の県内発生・緊急事態宣言に伴う対応及び南黒歯科医師会が定期健診における歯科健診を実施しないということで不利益が発生。 ②個別歯科健診・フッ素塗布券発行に係る諸経費。 ③健診票印刷製本費 3,200円×6冊×1.1=21,120円 対象者への通知 94円×230人=21,620円 健診等委託料 歯科健診+フッ素塗布 3,400円×110人=374,000円 ④R2年度2歳児健診対象者 200人 R2.3月の2歳児健診対象 17人	R2.10	R3.3	393	393	393		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別健診実施者数 148人</li> <li>・受診率70.1%</li> </ul>	2歳児歯科健診を個別健診で実施できたことで対象者の受診の機会を確保できた。受診者のうち、むし歯又は歯の汚れが著明な者について、受診後、歯科医院での治療や定期受診等につながる等対象者へ歯科保健充実を図ることができた。	R2補正（地）
35	単	新生児特別定額給付金給付事業	健康推進課	①新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受ける中、子育てに要する費用を支援するため、国の特別定額給付金の給付対象とならない新生児に対し1人につき10万円の給付金を支給する。 申請・受給権者：次の両方の条件を満たす者。 ・支給対象児を養育する者。 ・申請日時時点で黒石市の住民基本台帳に登録のある者 ②定額給付金及び給付に係る諸経費。 ③時間外 57,778円 消耗品費 計3,910円（申請書類用紙、宛名シール） 通信運搬費 40,326円 給付金：4/28～1/31生105人×100,000円=10,500,000円 2/1～3/31生50人×100,000円=5,000,000円 ④令和2年4月28日から令和3年3月31日までに出生した者で申請日時時点で黒石市の住民基本台帳に登録のある者	R2.10	R3.3	15,062	15,062	15,062		<ul style="list-style-type: none"> <li>・給付件数 154人</li> <li>・受給率 100%</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受ける中、国の特別定額給付金の給付対象とならない新生児に対し1人につき10万円の給付金を支給したことで、子育てに要する経済的負担の軽減につながった。	R2補正（地）
36	単	老人福祉センター感染症対策事業	地域包括支援センター	①公共施設等における新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設窓口にアクリル板等の必要な物品を購入・設置する。 ②感染拡大防止のための用品購入 ③・着席用アクリル板2台×13,200円（税込み）=26,400円 ・非接触体温計1台×12,760（税込み）=12,760円 ・大型扇風機2台×23,760（税込み）=47,520円 ④黒石市老人福祉センター（指定管理施設）	R2.10	R3.3	87	87	86	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染拡大防止のための下記用品を購入し、老人福祉センターへ設置</li> <li>・着席用アクリル板2台×13,200円（税込み）=26,400円</li> <li>・非接触体温計1台×12,760（税込み）=12,760円</li> <li>・大型扇風機2台×23,760（税込み）=47,520円</li> </ul>	感染症対策における備品を整備したことで、利用者との接触を避け、効率的な換気を行うことにより感染拡大防止が図られた。また、感染症対策機能向上により、新しい生活様式での利用促進につながった。	R2補正（地）

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

37	単	金婚額形式感染症対策事業	地域包括支援センター	①感染拡大防止の観点から金婚額形式の委託事業は中止とし、額彰状と記念撮影券を贈呈する事業に変更する。 ②記念撮影代（印刷製本費） ③撮影代2,000円（税込み）×13組=26,000円 ④結婚50周年を迎える夫婦	R2.10	R3.3	26	26						記念写真撮影券使用を17組想定し、13組が使用。	金婚額形式を行わず、対象者に額彰状と記念写真撮影券を贈呈することで密を避け、感染拡大防止に寄与した。	R2補正（地）
38	単	新型コロナウイルス対策事業	新型コロナ対策室	①公共施設等における新型コロナウイルス感染症の感染防止 ②・③公共施設等における蔓延防止に係る経費一式（別添参考資料のとおり） ④公共施設・学校施設・福祉施設・指定管理施設等管理者	R2.4	R3.3	7,683	7,683						・専門部署設置（工事請負費212,300円） ・新型コロナウイルス感染症総合対策本部会議開催回数 10回 ・市福祉バスの飛沫感染予防対策の整備 2台 ・感染防止備品購入（備品購入費6,197,620円…サーマルカメラ購入数 6基、非接触体温計購入数 135個、アクリル板購入数 5枚 など）	・新型コロナウイルス感染症対策担当の課室を設置し、感染状況等の情報収集や予防対策、市民への注意喚起などを一体的に管轄する体制を整備。また、新型コロナウイルス感染症総合本部を設置し、市全体の感染予防及びまん延防止に寄与した。 ・成人式など会場内で市民が密集する事業でも安心して参加できる体制を整備した。（検温機器の設置や飛沫感染予防対策の徹底、誘導スタッフの効率的な配置など） ・コロナ禍でも市民が福祉バスを利用できるよう飛沫防止パネルを設置し、ドライバーと利用者の非接触化を図った。	R2補正（地）
39	単	黒石市未来をつくる農業推進事業	農林課	①新型コロナウイルス感染症の影響に負けることなく、将来を見据えた新たな農業経営の確立に取組む農業者に対し、スマート農業をはじめとする先端技術や作業効率の省力化に要する農業機械等の導入費用又は自らが生産した安心・安全な農産物について、輸出を含む販路拡大等に係る経費の一部を補助し、持続可能な未来志向型農業を支援する ②ア 農業者が取り組む費用の経費の一部 イ 支援事業運営費 ③ア 1,000,000円×30経営体=30,000,000円 イ 運営費用（消耗品費等）：365,000円 ④農業者（個人・法人）	R2.10	R3.3	21,651	21,651						農業者に対し、先端技術や作業効率の省力化に要する農業機械等の導入費用又は販路拡大等に係る経費の一部を補助した。  【交付実績】 28経営体、21,286,000円	新型コロナウイルス感染症の影響に負けることなく、将来を見据えた新たな農業経営の確立に取組む農業者に対し、スマート農業をはじめとする先端技術や作業効率の省力化に要する農業機械等の導入費用又は自らが生産した安心・安全な農産物について、輸出を含む販路拡大等に係る経費の一部を補助し、持続可能な未来志向型農業を支援することができた。	R2補正（地）
40	単	感染症対策のための物資購入支援事業	学校教育課	①新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら児童生徒の学びの環境を確保する。 ②マスク、アルコール消毒液等の衛生用品の購入。 ③・不織布マスク 児童用 1,400枚 51,040円 大人用 750枚 23,925円 ・手指消毒用アルコール 216L 97,200円 ・非接触温度計 91個 770,770円 ・手洗い用石鹸液 詰替用 6本 40,920円 ・手指消毒用ウェットタオル 91個 85,085円 ・ティスボーザブル手袋（MサイズまたはLサイズ） 2,400枚 48,840円 ・フェイスシールド 60枚 9,900円 ・非接触温度計用乾電池 200本 17,600円 ・眼科健診用フェイスシールド 3,300円 ・アルコールディスペンサー 5,500円 ・手指消毒液 7,900円 ・面談用飛沫防止パーティション 32,505円 計 1,194,485円 - 補助限度額346,000円=848,485円 ④市内小中学校	R3.2	R3.3	1,194	1,194	346	848				○市内の小中学校4校、中学校2校に、感染症対策のための消耗品を購入した。	各学校に感染症対策のための保健衛生用品（マスク、消毒用アルコール等）が整備され、感染拡大防止が図られた。	R2補正（地）
41							0	0								
42	単	学校の情報機器整備に伴うソフト等購入事業	学校教育課	①学習機会の確保 ②GIGAスクール構想の実現に向けた、児童生徒1人1台端末の整備事業として、学校の臨時休業等の期間中も切れ目ない学習環境を提供する。 ③ア 教員用情報端末整備 72台×40,905円×1.1= 3,239,675円 イ 家庭学習支援機能付き教材ソフト 全児童生徒数1/3分+教員用 設定作業料 5,128,200円 計 8,367,875円 ④市内小中学校	R2.10	R3.3	8,368	8,368						○市内の小中学校4校、中学校2校の児童生徒が利用する、家庭用学習機能付き教材ソフトの設定作業を行った。  ○教員用の情報端末72台を整備した。	感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用により、児童生徒に切れ目ない学びを保障する環境を整備することができた。	R2補正（地）

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

43	単	学校施設環境整備事業	学校教育課	<p>①感染防止のため学校に水飲み場に手洗い用の給湯設備・エアコンを設置する</p> <p>②給湯設備設置工事費・エアコン設置工事費</p> <p>③給湯設備                  小学校 11,792,000円                  中学校 6,578,000円                  計 18,370,000円</p> <p>エアコン設置                  小学校 107,030,000円                  中学校 55,770,000円                  計 162,800,000円</p> <p>④学校施設</p>	R2.9	R3.3	169,419	169,419		169,418	1	市内の小学校4校、中学校2校に、給湯設備とエアコンを設置した。	<p>・エアコンの活用により、高温多湿で熱中症リスクが高い季節においてマスクを着用している状況下で、感染予防と熱中症予防を両立することができた。</p> <p>・冬期間においても、児童生徒が手洗いを徹底することができる環境が整備され、感染予防に取り組むことができた。</p>	R2補正(地)	
44	単	学校再開に伴う感染症対策及び学習保障等に係る支援事業	学校教育課	<p>①新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら児童生徒の学びの環境を確保する。</p> <p>②学校再開に伴い感染症対策・学習保障の支援として必要となる購入経費のうち、補助対象外分。</p> <p>③感染症対策用品等                  ・自動手指アルコール消毒 937,860円                  ・児童・生徒用マウスシールド 331,760円                  ・体育館用サーキュレーター 2,811,600円                  ・遠隔授業機器一式 3,410,034円                  ・電子黒板 2,032,800円                  計 9,585,302円</p> <p>9,585,302円 - 補助限度額4,250,000円= 5,335,302円</p> <p>④市内小中学校</p>	R2.10	R3.3	9,493	9,493	3,958	5,535			市内の小学校4校、中学校2校に、感染対策のための消耗品及び学習保障支援に係る備品を購入した。	<p>・各学校に感染症対策のための保健衛生用品(消毒用アルコール等)が整備され、感染拡大防止を図ることができた。</p> <p>・ICTの活用により、感染症対策を徹底しながら児童生徒の学びを保障する環境を整備することができた。</p>	R2補正(地)
45	単	スポカライン黒石図書コーナーIC化事業	社会教育課	<p>① スポカライン黒石図書コーナーにおいて、新型コロナウイルス感染症等の予防および利用者の安全確保を目的に、職員との非接触形式による図書貸出・返却システムを導入する。</p> <p>②ア 図書消毒機の導入                  イ 図書IC化ハードウェア式の導入(セルフ図書貸出機等)                  ウ A 図書ICチップ導入                  B 図書IC化ソフトウェア(システム)の導入                  エ 非接触による貸出・返却環境の整備                  備品購入費 9,336千円</p> <p>③                  ア 800千円×1台                  イ 7,700千円                  エ 836千円                  委託料 7,579千円                  ウ A 3,410千円                  B 2,255千円                  エ 1,914千円</p> <p>④スポカライン黒石図書コーナー</p>	R2.10	3.4以降		16,915	16,915	16,915			ア 図書消毒器1台を導入し、蔵書及び貸出後の図書の消毒作業を行った。 イ 貸出業務用IC機器3台、自動貸出機2台(一般用・児童用)、蔵書点検用ハンディ端末2台を導入した。 ウ 蔵書約43,000冊にICチップを貼付けし、図書館システムにIC化ソフトウェアの導入を行った。 エ サーマルカメラ1台を導入し非接触による検温を実施した。また、蔵書約25,000冊の書誌情報を更新し来館しなくてもインターネットから円滑に蔵書検索ができるようにした。	図書の消毒や非接触で貸出できる環境が整備され、コロナ禍においても感染者を出すことなく施設の運営を続けることができた。	R2補正(地)
46	単	黒石ほるぶ子ども館新型コロナウイルス感染症対策事業	社会教育課	<p>①黒石ほるぶ子ども館において、新型コロナウイルス感染症等の予防および利用者の安全確保を目的に、蔵書及び貸出後の図書の消毒作業を講じる。</p> <p>②図書消毒機の導入</p> <p>③備品購入費 1,200千円×1台×1.1</p> <p>④黒石ほるぶ子ども館</p>	R2.10	R3.3		800	800	800			図書消毒器1台を導入し、蔵書及び貸出後の図書の消毒作業を行った。	<p>・図書の消毒ができる環境が整備され、コロナ禍においても感染者を出すことなく施設の運営を続けることができた。</p> <p>・入館者数の落ち込みは続いているものの、貸出数がコロナ禍以前まで回復し、家庭における子どもの読書活動が推進された。</p>	R2補正(地)
47	単	黒石市指定管理施設休業協力金支給事業	文化スポーツ課	<p>①公共施設の指定管理者等への協力金や再開に向けた支援</p> <p>②スポーツ施設への休業協力金支給</p> <p>③・500,000×1施設=500,000円                  ・100,000×2施設=200,000円</p> <p>④利用料金制で運営している施設</p>	R2.9	R3.3		700	700	700			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、政府の休業要請に応じた施設に対し、協力金を支給した。 500,000円×1施設 100,000円×2施設	政府の休業要請に応じて施設を休館したことで、利用料金収入が減少したが、協力金を支給したことによって、施設の管理・運営に係る費用の負担軽減が図られた。	R2補正(地)
48	単	地域の感染状況等を踏まえたきめ細かい医療提供体制等構築事業	黒石病院事務局	<p>①オンライン診療等導入を見据えた通信インフラ等の整備</p> <p>②ア ネットワーク環境整備                  イ 端末購入                  ウ A1問診利用料</p> <p>③ア 外来診察室等への回線工事 426,800円                  電子カルテ等ネットワーク改修 990,000円                  イ ノートPC:172,700円×5台=863,500円                  タブレット:66,000円×3台=198,000円                  ハードウェア:11,000円×3台=33,000円                  スキャナ:140,800円×1台=140,800円                  ウ ライセンス料等:1,369,830円</p> <p>④黒石市国民健康保険黒石病院へ繰出</p>	R2.12	R3.3		4,022	4,022	4,022			外来診察室等への回線工事費等として、4,022,000円を黒石市国民健康保険黒石病院を繰り出し、4,021,930円をネットワーク環境整備費及び端末購入費、AI問診利用料の支払いへ充当した。	オンライン診療等の導入を見据えた通信インフラ等の整備が進んだことで、非対面診療が増加し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐことが期待される。	R2補正(地)

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

49	単	新型コロナウイルス感染症対策に伴う市議会インターネット中継配信事業	議会事務局	①議場での傍聴を3密回避のために自粛している住民に対し、市議会をインターネット中継することで、新型コロナウイルス感染症対策の支援をする。 また、議会運営においては、議場及び控室への入場制限をしている理事者側についても、インターネット中継が自席の端末で視聴できるため、より効果的な3密対策が可能となる。 ②インターネット配信に伴う機器導入・運用費 ③導入費 4,526,700円 ・中継システム一式(回線工事、プロバイダ加入等を含む) 4,451,700円 ・議場用デジタルタイマー一式 75,000円 ④議会傍聴を希望する住民及び議会対応する職員など	R2.10	R3.3	4,527	4,527	4,527			市議会の定例会及び臨時会の模様をインターネットでライブ配信したほか、後日、録画配信も行った。 議会インターネット中継配信機器設置業務委託料等 4,526,700円	議場において、入場数を減らすことで3密を回避できたため、議場内における新型コロナウイルス感染拡大を防止することができた。また、多くの市民に時間や場所を問わず市議会を視聴してもらえるようになった。	R2補正(地)
50	単	新型コロナウイルス感染症関連実施事業	コロナ対策(全庁)	①新型コロナウイルス感染症に関係する各分野での事業実施のため ②事業実施に伴う時間外勤務手当 ③別紙のとおり ④市民、市内事業者等	R2.4	R3.3	1,325	1,325	1,309	16		・時間外勤務手当(交付金対象) 1,308,610円	・感染対策を考慮した市議会やイベント対応のほか、農業者支援など市民サービスに係る事務用務に従事した。	R2補正(地)
51							0	0						
52	単	プレミアム付き商品券発行支援事業	商工課	①新型コロナウイルス感染症で停滞した市内小売店舗等の活性化を図るため、黒石商工会議所が実施するプレミアム付き商品券発行事業を支援する。 ②市内小売店舗等プレミアム付き商品券事業費用を助成する。 ③補助金 40,000,000円(黒石商工会議所への補助) 商品券印刷費 1,400,000円 広告宣伝費 1,500,000円(ポスター、新聞広告等) 消耗品費 605,000円(コピー用紙代) 通信運搬費 2,250,000円(各種通知) アルバイト等賃金 1,500,000円×1名 事務費 2,745,000円 プレミアム経費 30,000,000円 (発行総額150,000,000円×プレミアム分20%) ④市民等	R3.3	3.4以降	38,301	38,301	38,301			(発行数) 想定15,000セット(1,000円券×10枚及び500円券×4枚綴り。2,000円分のプレミアム付き)に対し、15,000セットを販売し、完売した。 (参加店舗) 市内222店	市民生活を応援し、市内の消費喚起及び市内に賑わいを起こし、顧客獲得と売上向上を図った。 ※消費喚起効果額179,580,500円(商品券換金総額)	R2補正(地)
53	単	くろいし飲食券発行事業	商工課	①新型コロナウイルス感染症で停滞した市内飲食店等の活性化を図るため、市民に飲食券を無償で交付し、市民全体で市内消費の喚起を促す。 ②市内飲食店で使用できる飲食券を発行する。 ③飲食券発行 48,419,000円(うち売上7,500,000円) (別紙積算資料) 時間外勤務手当79,000円 消耗品費80,000円 印刷製本費1,300,000円 通信運搬費672,000円 広告料88,000円 販売委託料1,200,000円 補助金(プレミアム分)45,000,000円 ※3,000円分を500円で販売 プレミアム分 37,500,000円(2,500円×15,000セット) 販売収入 7,500,000円(500円×15,000セット) ④市民	R3.3	3.4以降	47,608	47,608	40,107	7,501		(発行数) 想定15,000セット(500円券×6枚綴り。500円で販売)に対し、15,000セットを委託販売し、完売した。 (参加店舗) 市内69飲食店	市内の消費喚起及び市内に賑わいを起こし、顧客獲得と売上向上を図った。 ※消費喚起効果額44,410,500円(商品券換金総額)	R2補正(地)
54	単	黒石市着地型観光誘客促進事業	観光課	①新型コロナウイルス感染症の拡大により落ち込んだ旅行消費を回復させるため、市内でできる日常体験型の観光コンテンツについて、マイクロツーリズムを意識した着地型観光の誘客促進を行う。 ②県内の旅行会社へ出向き商品を紹介し、ツアー企画について提案する。 ③旅行会社訪問時旅費等 32,000円(うち市費1,000円) 売り込み用備品 153,000円(うち市費1,000円) 旅行会社招聘現地視察会 250,000円 SNS広告宣伝料 1,331,000円 時間外勤務手当 21,000円(うち市費1,000円) 消耗品費 20,000円(うち市費1,000円) ④地方公共団体	3.4以降	3.4以降	1,756	1,756	1,756			市内でできる日常体験型の観光コンテンツについて、マイクロツーリズムを意識したツアーを3回実施し、47名の参加となった。また、SNS広告での体験プログラムの売り込みを3回実施し広告期間後の申込件数が4件あった。	感染症の拡大により落ち込んだ旅行消費を回復させるため、着地型の旅行商品の企画・実施を行うことで、観光誘客と観光消費促進につなげた。また、SNSを用いた広告を実施し、市のイメージアップと認知度向上を図った。	R2補正(地)

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

55	単	観光イベント継続支援事業	観光課	①市の産業及び観光振興を図ることを目的に交付している補助金の交付対象であり、新型コロナウイルス感染症の影響により中止したイベントに対し、中止までに要した費用を主催者が今後の開催意欲を失わないようにするを目的に支援 ②新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、イベント準備のため生じた費用 ③2事業に対する補助金 513,000円（うち市費1,000円） ④イベント主催団体	R2.4	R3.3	513	513	512	1	黒石さくらまつりはポスターの印刷と看板設置を行っていたので、その費用を交付した。 黒石りんごまつりは会場使用料のキャンセル料が生じたので、その費用を交付した。	補助金の交付先は財務基盤が脆弱であり、補助金がなければ事業継続が困難であったが、交付したことによりアフターコロナでの再開が見通せるようになった。	R2補正(地)	
56	単	学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備事業	学校教育課	①学習機会の確保 ②GIGAスクール構想の実現に向けた、ICT整備事業として、学校の臨時休業等の期間中も切れ目ない学習環境を提供する。 ③電子黒板購入 7台×677,600円 4,743,200円 ④市内小中学校	R3.3	3.4以降	4,460	4,460	4,460		市内の小中学校及び中学校に、電子黒板を購入した。 ・小学校 2台 ・中学校 5台	ICTの活用により、感染症対策を徹底しながら児童生徒の学びを保障する環境を整備することができた。	R2補正(地)	
57	単	新型コロナウイルス感染症対策をとった申告相談業務	税務課	①申告相談会場内の待合スペースで申告者の3密を回避するため、待合スペースを会場外にも新たに設置する。 ②暖房器具に使用する燃料費（灯油） ③暖房器具1台当たりの1日（7時15分から17時まで）の灯油使用量・・・・18ℓ 使用する暖房器具・・・4台 ・申告期間 18ℓ×4台×27日間（申告実施日）=1,944ℓ 1,944ℓ×@75.35円=146,481円（端数切上） ・申告相談が17時で終了しない分 1.8ℓ（1時間辺り）×4台×14時間=101ℓ ※時間数は昨年度実績 101ℓ×@75.35円=7,596円（端数切上） ・申告期間延長分（施設借用期間） 18ℓ×4台×8日間=576ℓ 576ℓ×@75.35円=43,402円（端数切上） ④市民	R3.2	R3.3	200	200	197	3	事業期間中は、2,370人の来場者があり、申告相談を受け付けた。	混雑時においても来場者がソーシャルディスタンスを確保できるよう、待合スペースを広く設置したことで、感染防止につながった。	R2補正(地)	
58	補	母子保健衛生費補助金	健康推進課	①歯科保健の充実。新型コロナウイルス感染症の県内発生、緊急事態宣言に伴う対応及び歯黒歯黄歯医師会が定期健診における歯科健診を実施しないという中で不利益が発生。 ②個別歯科健診に係る諸経費。 ③歯科健診等委託料 2,500円×51人=127,500円 ④1.6歳児健診及び3歳児健診対象者	R2.10	R3.3	21	21	21	0	・1.6歳児個別健診実施者数 19人 受診率57.6% ・3歳児個別健診実施者数 15人 受診率20.0%	1.6歳児及び3歳児歯科健診を個別健診で実施できたことで対象者の受診の機会を確保できた。受診者のうち、むし歯又は歯の汚れが著明な者について、受診後、歯科医院での治療や定期受診等につながる等対象者へ歯科保健充実を図ることができた。	R2補正(国)	
59	補	無線システム普及支援事業費等補助金	企画課	（高度無線環境整備推進事業） ①光ファイバ未整備地域へ光ファイバを整備する。 ②光ファイバ設備整備に要する経費 ③補助対象整備費用 53,988,000円のうち 国庫補助金分及び国庫補助事業の地方負担分 53,988,000円×2/3=35,992,000円 17,996,000円×0.8（自治体負担分） =14,396,000円 残りの2割は単独事業へ ④光ファイバ整備を実施する民間事業者へ負担金として支出	R2.9	3.4以降	20,295	20,295	11,275	9,020	0	光ファイバ未整備地域（黒石市大字沖浦の一部、大字大川原、大字南中野、大字二庄内）へ光ファイバを整備した。	市内における光ファイバ網が広がり、今後様々な分野でのブロードバンド環境の活用が期待できる。	R2補正(国)
60	補	学校臨時休業対策費補助金	学校教育課	①学校臨時休業に伴う学校給食休止に係る学校給食費を保護者に対して返還等するための経費の支援。 ②牛乳、パンのキャンセル料 ③キャンセル料 六郷小学校 49,784円 中郷小学校 54,980円 牡丹平小学校 18,688円 浅瀬石小学校 7,913円 追子野木小学校 66,732円 黒石東小学校 24,935円 黒石中学校 96,569円 中郷中学校 70,198円 合計 389,799円 389,799円-補助限度額292,000円 = 97,799円 ④市内小中学校	R3.3	3.4以降	389	389	292	97	0	市内の小中学校6校、中学校2校分の給食用食材等に係るキャンセル料を支払った。	学校の臨時休業により給食を停止した際、提供を受けていない給食費の保護者負担を避けることができた。	R2補正(地)

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

61	補	障害者総合支援 事業費補助金	福祉総務課	(特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デ ィサー ビスへの支援等事業) ①特別支援学校等の臨時休業に伴い、保護者が仕事を 休めない場合の放課後等ディサー ビスの利用の増に対 する補助 ②対象となる障害福祉サービス等を実施した報酬 ③対象経費 2,177円 ④放課後等ディサー ビス事業所 3か所	R2.4	R3.3	2	2			2		0	新型コロナウイルス感染症対策に 伴う小学校の臨時休業等のために 放課後等ディサー ビスの利用料が 増えた者に対し増額分を補助。 2,177円(3名分)	新型コロナウイルス感染症に伴う 小学校の臨時休業により、放課後 等ディサー ビスを利用している保 護者の利用料負担増の軽減が図れ た。	R2補正 (国)
----	---	-------------------	-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------	------	---	---	--	--	---	--	---	--------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------	-------------